

# 大町病院サポーターの会会報

No.92

2022年11月発行

大町病院サポーターの会

発行責任者 降旗剛

## せん定、草取り、プランターの片付けに、ご協力

ありがとうございます。



地域のお祭りなどの行事や脱穀などで忙しい季節とあって参加者はいつもよりは若干少ないようでしたが10月2日(日)の作業は環境部長の柳沢英幸副会長の挨拶で始まり、暑いぐらいの秋晴れに恵まれた陽気の中、ペチュニアを植えたプランターの片付け、草取り、庭木の剪定を行いました。

満開で良い香りを放つ金木犀をはじめ、ヤマボウシやかりんの庭木の剪定を行いました。参加された方の中には、剪定した枝があまりにも良い香りなので大事そうに持ち帰る方もおり、ささやかなごほうびになりました。久しぶりに参加されたという方は、「大勢でやると作業が早いし、楽しみながらできる。やっぱり花を植えたり、きれいにしていると気持ちや和む」とおっしゃっていました。作業終了後に職員労組から差し入れていただいた飲み物は、直前まで冷やしていただいてあり、とてもおいしく頂きました。最後は高木哲副院長の慰労の挨拶で終了となりました。早くから来て準備いただいた役員の方、参加された皆様ありがとうございました。景観が清々しくなり、コロナ禍にあって大変な激務をこなしていただいている医療従事者の皆様や患者様の気持ちを少しでも癒していただくことができればと思っています。また大町病院を訪れた際は、ガーデニング部の皆さんが丹精込めた「憩いの庭」もぜひご覧ください。

参加された皆様(50音順、敬称略)

井澤純子・伊藤道子・海川明文・太田賢吾・小日向明・川上晴夫・北澤孝一・北澤好泰  
小浪和正・小林由美枝・五味めぐみ・坂井賢・塩原義夫・渋谷見博・嶋田元美・清水香代子  
神社正幸・曾根原富美恵・高木哲・高橋博久・鳥羽嘉明・長澤奈美・中村直人・西澤喜吉  
平林ひろい・降旗菜穂子・松尾恵理子・柳沢英幸・山口悦子・若林茂男・鷺沢明美







# 大町病院発熱外来は車が数珠つなぎ！

## 新型コロナワクチンは積極的に受けましょう

11月14日、長野県は全県下に「医療非常事態宣言」を出し注意を呼びかけました。

高齢者などに感染拡大することで入院が長引き、医療への負荷が増えています。

現に大町病院では10月末以降発熱外来の受診者数が40～50件と増加し、受診を待つ車が長蛇の列を作っています。

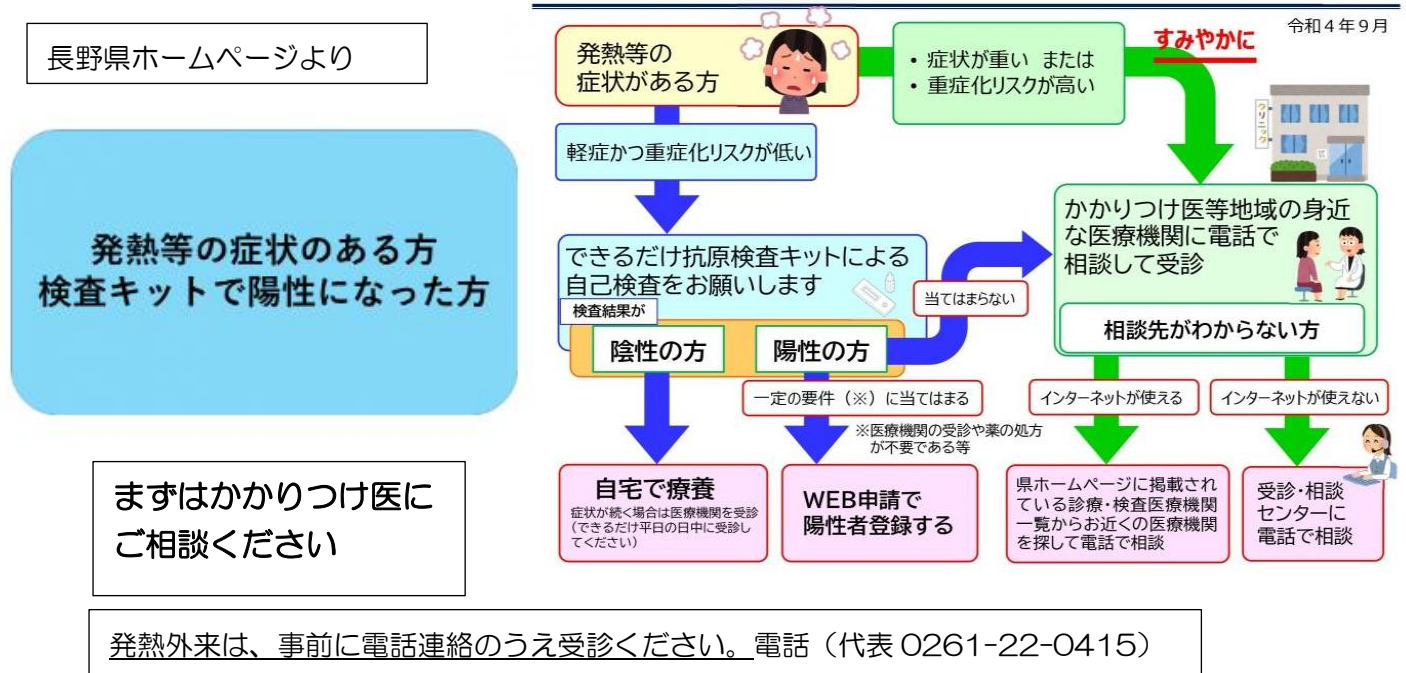
11月15日、県は大北地域では113人が新たに感染したと発表。このため病院はひっ迫状態で、医療に従事する現場職員は大変な状況に置かれています。

病院では「まずはかかりつけ医に相談してほしい。大町病院の発熱外来受診を希望する場合は事前に電話をしてから受付時間内に来てほしい。また受診までに時間がかかる場合があるのであらかじめご了承ください。」と訴えています。受付時間、平日は午前9時から午後3時まで。(土・日・祝日は正午まで。)

市中にみられる「ワクチンは無効」などという無責任な風評には現場のひっ迫を見れば誤りであることは明らかです。

まだ新型コロナワクチンを接種していない方は進んで接種を受けましょう。自分の健康と生命、家族や周りの人の健康を守るためにも。そして医療現場の医師・職員の健康と医療体制を守るためにも。

発熱等の症状がある方の対応について<イメージ図>



## 11月10日役員懇親会(きのこ鍋を囲んで)

11月10日夕方から社松崎公民館においてサポーターの会幹事会役員がキノコ鍋を食べながら懇親をはかりました。都合のつかない方もあり10名で行いました。

これはコロナの流行により役員間の意見交換や意思疎通ができなくなっている現状を打開していこうと、降旗剛会長が企画し、八坂産の山きのこを食材に、鍋を囲んでの会となりました。大鍋にあらかじめこしらえてあったキノコ2Kg(アマタケ、シモフリ、コムソウなど)、肉と里芋、大根、ニンジンを入れ、手作り味噌と市販の味噌をミックスして煮込みました。

1時間弱の煮込みでいいにおいが立ち込め、食べなくてもうまいとわかる感じです。

定刻になり、お椀にてんこ盛りのキノコ汁がふるまわれ、キノコのおろし和えや、会長手作りの珍味地蜂の佃煮などを肴に、意見交換がされました。

イルミネーション設定や、点灯式、さらに雪遊び交流会などが話題となり、アルコールが入ったこともあり議論は大いに盛り上がりました。これからの行事は決まったとおり計画し、今後のコロナの状況を見ながら判断していくことを確認しました。

議論の合間を縫ってキノコ汁のお変わりが何杯もされ、大きな鍋はそこに少し残るほどでした。



## 信大研修生 3 人に大町をレクチャー

大町病院で研修している信州大学医学部 5 年実習生 3 人の市内案内を 10 月 24 日、サポーターの会副会長・事務局長の渋田見博さんが行いました。

氏名 齋藤 千紘（さいとう ちひろ）出身：神奈川県

坂井 真衣（さかい まい）出身：東京都日野市

朴 燦龍（ぱく ちゃんよん）出身：東京都

の 3 人でした。11 時 30 分に九日町セブンイレブンに集合し、まず餃子で人気の俵屋様で昼食、車で市内一円を案内し自然環境の素晴らしい歴史のまち大町をくまなく案内しました。

「かじか」でおいしいコーヒーを飲みながら懇談し、「将来大町病院に必ず来てください」とお願いをしました。

## ◎秋野菜の差し入れを行いました（①ブロッコリ）

10 月 4 日、コロナで緊迫している医局へ、『毎日の住民の健康と生命を守る取り組みご苦労様です、今日はブロッコリーをお持ちしました。生育に個体差があり、大きく育ったり遅れたり色々です。近くの農家にもお願いし、数をそろえました。素人の作柄ですのでお許してください。』とメッセージを添えて、ブロッコリー 30 個を差し入れました。

同日に植えた苗ですが出来上がりは不揃いで大きなものは 17.8 cm、小さなものは 12.3 cm とムラがありました。これ以上収穫を伸ばすと花が咲き始めますので採取しました。





## ◎秋野菜の差し入れ (②キャベツ)



10月11日は、キャベツ30玉を医局に差し入れしました。

3連休中は雨続きで、収穫が遅れ、破裂しそうになりひやひやしましたが、晴れ間を縫って何とか収穫することができました。

有機肥料で栽培しましたので柔らかくできましたが、根元には寒さを避けてミミズが入り込む球もあるなど、収穫には注意が必要でした。(いつものように、注意書きしておきました。)



## ◎秋野菜の差し入れ (③大根)

新型コロナが増え始めてきた10月31日(月)サポーターの会は感謝とお見舞いのメッセージをつけて大根30本を医局に差し入れました。

今年の大根はメタボあり、スリムありの不揃いでしたが、時代を反映してか?メタボが多かったようです。

今年も、種をまく土づくりに力を入れ、耕した後、牛糞を入れ再度耕し、1週間おいておきました。

畝は1メートルの間隔を取り、種は10cm間隔でまき、10cmほど成長したところで間引きを行いました。

途中でボカシ液を希釈して2回じょうろで撒くと葉の色が元気になり、成長速度も早まります。8月15日の種まきから75日目で収穫できました。



## ◎秋野菜の差し入れ (④白菜)



11月7日(月)白菜30個を医局に差し入れしました。今年の白菜は少し小さめでしたが、みずみずしさは変わりません。種まきが8月12日と遅かったうえに肥料が足りなかったようです。

種をまき、苗を植え、その時から虫よけネットをかけそのまま今日までネットの中でひたすら我慢?そうすると農薬も使わず害虫の侵入を防ぎます。

「私の作った野菜は土の香りがして甘い」とお褒めをいただいていますがいかがだったでしょうか。

## イルミネーション点灯式は、12月1日(木)

午後6時～午後6時30分 駐車場モミの木の下で



イルミネーション設営は11月26日(土)9時から。役員の皆さんはご協力ください。

※コンサート参加者募集中です！



## 雪遊び交流会は2月5日(日) 爺ガ岳スキー場(予定)

昨年中止した雪遊び交流会ですが、今年は状況を見ながら実施することを予定しています。

参加募集対象は職員家族と役員です。

※今後のコロナの状況を見て、中止になることをご承知おきください。

日時：2月5日(日) 9時～15時

会場：爺ガ岳スキー場

募集人員：30人

参加費：大人 1,000円 こども 500円 (予定)

募集締め切り 2月初旬

年明けに別途募集要項・申込用紙を発行します。

## 会費納入者

ありがとうございました(順不同、敬称略) 令和4年10月14日現在

個人会費

傳刀昭一 柳沢たに江 嶋田元実 高野隆子 栗林里子 西牧俊郎 西牧登美子

丸山令江子